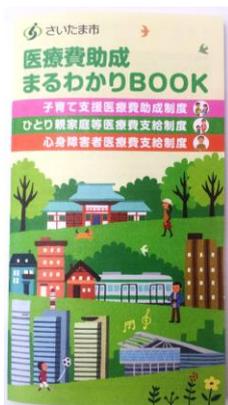


官民協働で医療費助成 まるわかりBOOKが完成！

子育て支援医療費助成制度、ひとり親家庭等医療費支給制度、心身障害者医療費支給制度の対象の方に、制度を正しく知り、活用していただくための総合的な案内冊子が初めて発行されました。

内容は、上記3制度の助成方法、医療費の仕組み、適正受診に関する情報などが記載されています。どうぞ皆さまのお手元に置いていただき、ご活用ください。

お問い合わせは、市年金医療課：048-829-1979



太田国土交通大臣に、 さいたま市の課題を要望！

さいたま市は、人口 125 万人を有する首都圏の政令指定都市として、「多彩な都市活動が展開される東日本の交流拠点都市」を将来都市像に掲げて成長を続けています。

また鉄道・高速道路網の結節点として、交通政策上も重要な位置にあり、さいたま新都心地

区には、国の地方支分部局が集積しており、「首都圏の広域防災拠点都市づくり」をめざしています。

本要望では、さいたま市の取組を進めるに当たり、国土交通省所管の施策について、御検討いただけるよう要望しました。

さいたま市の国土交通省施策 に対する要望書の内容

平成 26 年 10 月 31 日、国土交通省に太田昭宏大臣を訪ね、さいたま市の課題で国土交通省が担当する事業について直接、大臣に以下の点を要望致しました。

- ①首都高速埼玉新都心線の東北自動車道までの延伸・地域高規格道路「新大宮上尾道路」の早期完成
- ②さいたま新都心地区の広域防災拠点化
- ③駅ホームドアの設置推進
- ④大宮始発新幹線の 신설とハブステーション化
- ⑤さいたま築堤の整備及び荒川河川防災ステーションの建設
- ⑥高速鉄道東京 7 号線の延伸促進



かみさか たつあき “市議会便り”

12月定例会が閉幕しました。私が所属している保健福祉委員会では待機児童ゼロ対策や高齢者福祉、障害者福祉充実のための審議等がなされています。

今後さらに加速する少子・超高齢化社会や人口減少社会は待ったなしの状態です。また、ノーマライゼーション条例を掲げるさいたま市では、障害の有無にかかわらず、誰もが安心して暮らせるためのソフト・ハード両面からの都市づくりが求められています。それらの未来を展望するとき、盤石な地域包括ケアシステムの構築こそが最重要課題だと考えます。



議会での政策提言が実現しました。**質問**

廃棄処分されている小型家電製品に含まれるレアメタル(希少金属)の有効利用を提案しました。(平成 23 年 12 月一般質問)

結果

平成 26 年 1 月より、市内公共施設 50 カ所において、携帯電話やデジタルカメラなど、小型家電回収BOXの設置・運用が開始されました。これにより資源の有効活用とともに最終処分場の延命化にもつながる新事業として実現しました。

**質問**

被災地(気仙沼)から届いた“声”を受け、リサイクル自転車を提供できるよう、市に働きかけました。(平成 23 年 4 月 14 日要望)

結果

平成 23 年 4 月 28 日、宮城県気仙沼市にリサイクル自転車 50 台を寄贈。市立新南中学校の体育館で暮らす被災者の足として 27 台、県立気仙沼高校に通う学生の通学用として 23 台。自転車商組合や県トラック協会などのご協力をいただき実現しました。

気仙沼市へ自転車をお届けしました。

**質問**

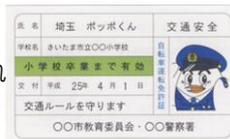
子どもたちを自転車事故から守るため、交通ルールや実技が学べる「子ども自転車運転免許制度」の実施を提案しました。(平成 23 年 12 月一般質問)

結果

平成 25 年 4 月より、市内小学校で「子ども自転車運転免許制度」(小学 4 年対象)として実現させました。この全校実施は政令市では初となる取り組みで、子供たちを自転車事故から守る事業として期待されています。



子どもたちに交付される運転免許証の見本

**質問**

車いす使用者用駐車スペースの不正利用を減らし、利用者にとって分かり易く、利用し易い環境を整えるため、青色塗装するよう提案しました。(平成 25 年 6 月一般質問)

結果

平成 26 年度予算に、車いす使用者用駐車スペースを青色塗装するための予算が計上され、3 年間の順次整備を実現。緑区では区役所やプラザイーストなどが既に整備されました。

**質問**

自転車事故発生率が最も高い中高生を対象にスケアードストレイト教育技法(体験型交通安全教育)を用いて子供たちの安全を守るよう提案しました。(平成 23 年 12 月/平成 25 年 9 月一般質問)

結果

平成 26 年 4 月より、3 年間で市立中学・高校、全 61 校を対象に、スケアードストレイト教育(スタントマンが事故に遭った時の様子を見せる交通安全教室)を実現させました。この取り組みは政令市で初となるものでマスコミ各紙でも取り上げられました。



衝突事故をスタントマンが再現!

**質問**

民間就職支援サイト(マイナビ)を活用し、仕事を求めている新卒学生と優秀な人材を求めている市内中小企業とのマッチング事業を提案しました。(平成 23 年 9 月総合政策委員会)

結果

平成 25 年 9 月、民間就職サイト「マイナビ」にさいたま市の特集ページが開設され、人材獲得に意欲的な市内企業と、厳しい雇用環境に置かれていた新卒学生とのマッチング促進事業として実現をさせました。



上記以外にも、認知症対策への取り組みや放課後児童クラブの新設、ギャンブル依存症に関する特集ページを市HPに掲載させるなど数々の声を政策として実現しました。私のHPでは、議会における活動や質問、それに対する市の答弁等も掲載しておりますので興味のある方は是非ともご覧ください。